

LOST

ロスト ジェネシス

GENESIS



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



J-M-
BOX
takatu



LOST GENESIS

注意書き

本作は「学園トライアングル」「学園ジェネシス」の二次創作十八禁同人誌です。
世界観や恋愛関係、ふたなりなど高津個人の独自解釈による原作との差異が部分的に含まれます。
また、上記に関しまして原作者や出版社等とは一切関係はありません。
ご了承して頂いた方のみ読み進めて貰えますよう宜しくお願い致します。

J-M-
BOX
takatu

——何を
もたついているかッ

さっさと伝説の
三校を潰し
勇者どもの首を
もってこい！

神の榮譽に
報いるために
命を使え！



千ッ！！

半端な覚悟の
愚図どもが…
捨て后にもならぬ
ではないか



あまつさえ
劣勢になるや
途端の逆心



ののう？
のきよ

…滅相も
ございません
何故私が教皇様を
裏切るなど…



…貴様も
我が属領より
離れば忽ち
叛逆に加わるか？



思っている
のでは
あるまいなあ？



これはこれは
大した忠臣だ

そうして諂えば
優しく撫でて
貰えるとても

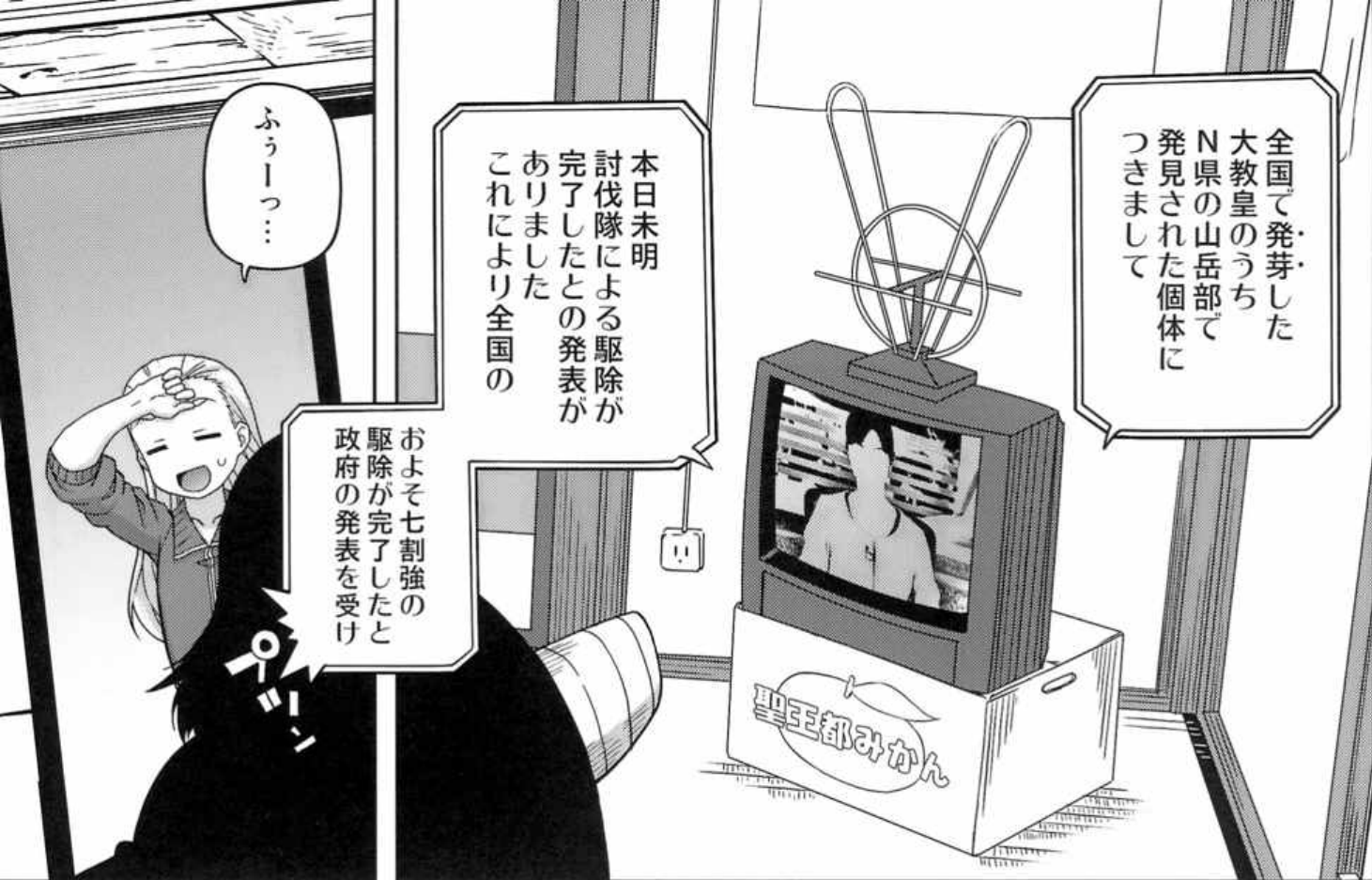


所詮 貴様など
我と邪神の
玩具の一つよ

存分に
使い潰してやる
…さっさと来い

はい…
はい…







い♥好いぞ♥のき
私のチンポのツボを
良くわかって

お♥おるでは
ないかつ♥



は...っあ♥
ありがとう
ございます♥

そう♥そこっ
そこだ♥
もっ♥強くっ♥

あ♥汗で汚れて
おるからな
風呂に入る前に



お前の舌で
丹念に綺麗に
するのだぞ♥



どうしたことだ？
私の背中で大蛇が
のた打ち回って
おるようだが

もっ…申し訳
ございません！



…んっ？



あ…



だっ…大教皇様の
ちんぽを
舐めさせて頂くうちに
…その

その…？
なんだん？

ひ♥わ私も
抑えきれなく
なりましてっ♥





あ♥あーっ

はああーっ♥

んくっ…♥
出るっ…!

出ますっ♥
出ますっ♥

んくっ…♥
出るっ…!

んくっ…♥
出るっ…!

んくっ…♥
出るっ…!



濃いっ…
中身の方も
チーズの
ようだな…
お前の汁は♥

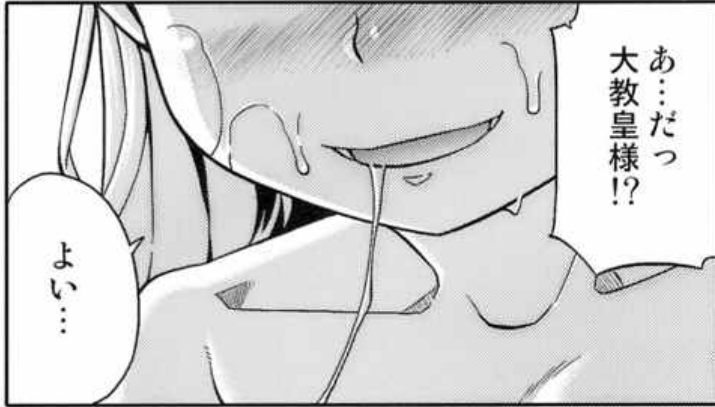
んくっ…♥
出るっ…!

んくっ…♥
出るっ…!

んくっ…♥
出るっ…!



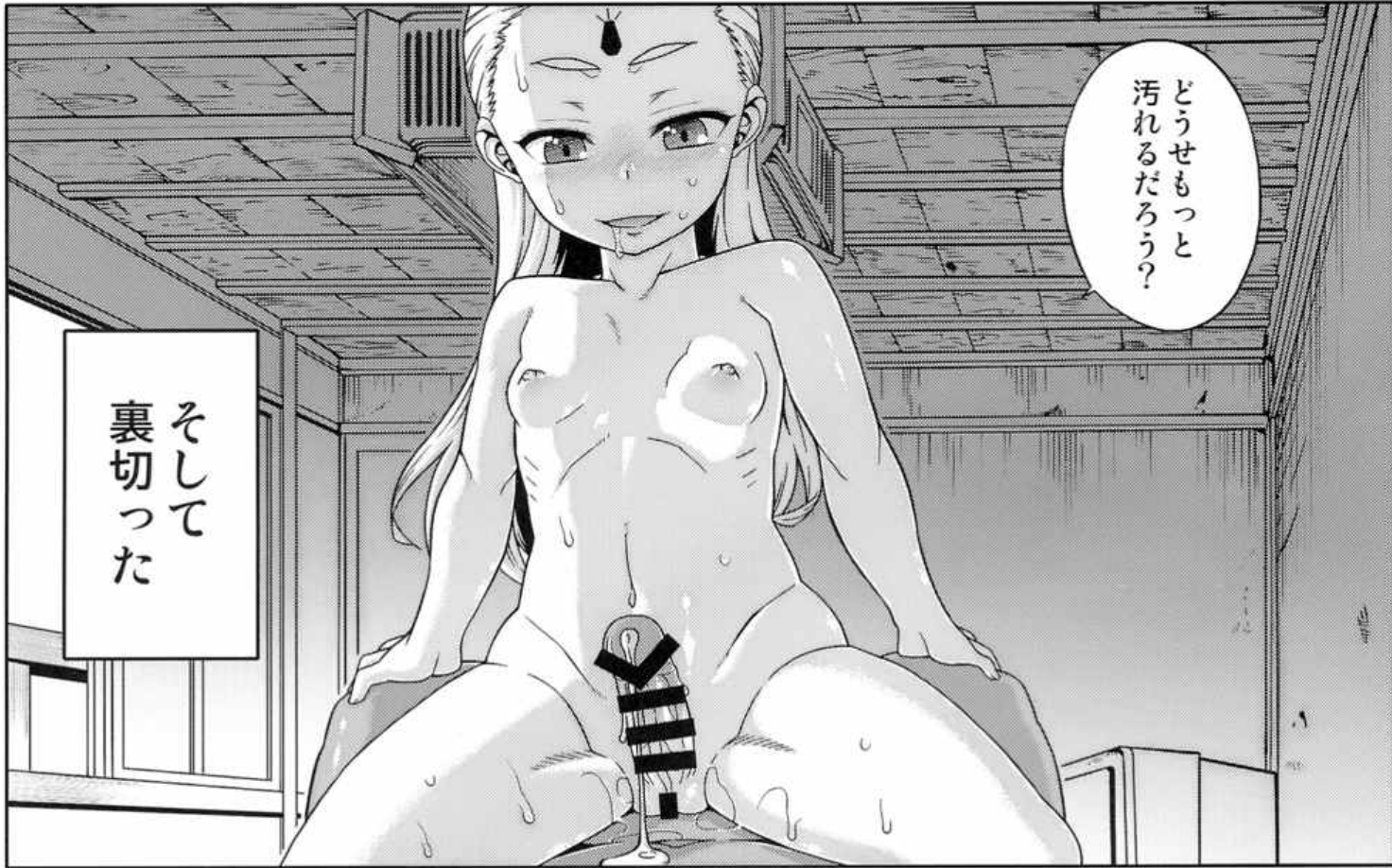
かつて私は



あ…だっ
大教皇様!?



このお方
大教皇様に
忠誠を誓って戦い
この身を捧げ



どうせもっと
汚れるだろう?

そして
裏切った



…はい

その能力から私は
彼の側近となり
様々な命に従った
——護衛から
慰安まで

ほぼ毎晩 彼の
暴力的な寵愛を受けたが
心から信頼され
愛される事はないに
無かった

だから人類勇者達に
城を落とされた日……
以前より誘われていた
妖火軍へと
逃げるように寝返った

その妖火も敗れ……
終戦後 アアバートに
隠れ住んで半年ほどが
経った頃だった

大・教・皇・様・を
見つけたのは







御賜わり下さいっ
大教皇様っ♥

子宮に♥

種付け♥
種付けして
下さいっ♥

キュン♥



ああ よいぞ
愛い奴め♥
そこまで言うなら

たっふりと
くれてやる!

お前も私と同時に
いくのだぞっ♥
ほらっ♥いつ♥

いぐ♥
いぐっ♥

はいっ♥
いく♥

さん♥

ん

ん



まだまだぞっ
奥まで
しっかり

注いで
やるっ…♡



彼は死ぬ直前
己の種子を
まき散らし

各地で
芽を出した

オツ♡おホおツ♡

オオツ♡



外に思わぬケリ
聞かされたかも...

だが私が見つけた個体は不完全な奇形だった
身体の造りも歪み記憶も受け継いでおらず



……のき

私にはそれが
愛おしかった



自分のした非道など
まるで覚えていない
まっさらな生き物
生まれた意味も知らない
邪神の玩具

ただ最小限の情報で
構成されたクローン：
大教皇とは到底呼べぬ
出来損ない



次は私が
お前の子種を
貰ってやろうか？

だっ 大教皇様!
何を仰って

冗談だ♪



そんな事ばかり
言っていると
本気にしますよ...

ン?
何ぞ言ったか?

ええ
急がないと
銭湯が
閉まると

おあッ!
そっか!

確認された大教皇の
『種子』の駆除が
終わり次第 政府は
改めて全国に第二次の
調査部隊を派遣

潜伏していると思われる
残存個体の完全殲滅に向け
注力すると発表しており
新時代の平和へまた一歩
近付いたとの声も――

例え偽者だろうが
出来損ないだろうが
新たな時代に
居場所が無かろうが

私を傷付けない
猜疑も軽蔑もしない
今の貴方だけが
私にとっての本物

決して芽吹かぬ
種子でも良い
今度は…今度こそ
最期まで

お側におります
大教皇様



判らない人のための 登場人物紹介

ぶっちゃけこれを読んでいる殆どの人が判らない
と思われるキャラクターの紹介ページだよ！
やったねたえちゃん！学ジエネクラスタが
増え…増え…ウウツ…！

「学園ジエネシス」はかつて
パソコンパラダイスという成年向け
PC雑誌で企画されていた読者参加
八ガキゲームだよ。
自分でキャラクターを作り毎月ごと
行動を割り振って結果を受け取る
のんびりしたTRPGみたいな
ものだと思ってね。
ただまあ…ちょっとヴァイオレンスな
側面があって、お気に入りヒロインが
来月まで生きていられる保障は
どこにも無かったんだぜ！

←
高津の性癖を
確実に歪めた原因。
思い出深いゲームだね。
当時の俺！
お前〇年後にこの
エロバロ本出すぞ！
まじで！

のき

魔界貴族にして大教皇の側近。
コイツは「防衛型」という特殊なバターンの
キャラで、戦闘の際にカウンターしか使わな
い。システム上めっちゃ弱いはずなのだが、
立ち向かっていったPCが50人以上倒され
たというアーニー戦の宮田君ばりにキレてる
性能を発揮した。その激渋すぎるスタイルと
褐色釣り目クール系巨乳お姉さんという盛り
すぎな属性が高津の性癖の一角を決定した。
そんな高津さんがワクテカして買った小説版
では出番が一切削られて居なかった事にされ
くそア!!!!!!

ラナ…魔族の少女。こっちも褐色。
大教皇様褐色好きなんです？（握手）
矢木…大教皇と同じく重要キャラだったのに
人気がないのですぐ死んだ。
それを哀れんだ大教皇がゾンビとして
復活させたがすぐ死んだ。
勇者…このシリーズ通して最強の兄テレ妹。
小説版ではやや卑しい。

大教皇

魔界最強の支配者にしてなんと「植物型」
小説では勇者に倒されたあと、自らの分身を
種子として散布した描写がある。
オリジナルは男の子…どころか何と子持ち
（ラナのお父さん）。だけどこの本では女の子
という設定にしました。まあ本人じゃないし
おちんちん生えててもいいよね。
一度敗走した後ゾンビ矢木を従えて復活する
ものの、味方勢力が全然集まらず黒幕っぽい
くせにあっさり退場。後日談が小説で補完さ
れたから良いようなものの…。大教皇の威厳
とは一体。のきの方が人気あったし。

●在りし日の
威厳に満ちた大教皇様。



●「それ終わるならど
か月をひきおいて」
「わかっただろー」



●擬似親子関係のニキムンキムンごめちやね。



●のきはきつと大教皇様には良いお洋服買ってあげて
自分は辛いジャージとか着てまじ。

次ページからは
ゲスト様の
玉稿を掲載して
おります！



三つの学園があつて、戦争があつた。

この世界にはおそろくきつと愛はあつたが、それ以上に無慈悲で、狂気に満ち、暴力が吹き荒れていた。

あの時代、あの世界の学生だった僕たちは、己が心臓に傷を刻みつけるかのように戦っていた。

八〇年代後半から九〇年代、主にゲーム系雑誌を中心に読者参加ゲームが流行した。雑誌についてくるゲーム参加用のハガキに、自分のキャラのデータを作り、行動を記して、投稿する。読者から送られてきたハガキを元にゲームを進め、その結果が次回の内容に反映される。そうやってストーリーが進行していく。成績優秀者は名前が載り、場合によってはストーリーにも登場する。だいたいこんな感じだ。インターネットがまだなかった頃（もしくは普及しきつてなかった頃）のお話だ。

学園トライアングル（そして続編の学園ジエネシス）も、そういう読者参加ゲームのひとつだった。ただ一点、他の読者参加ゲームとは大きく違う点がある。

それは掲載雑誌がパソコンパラダイスだったこと。つまりエロゲーを取り扱う雑誌だったということだ。

学園トライアングルは性的描写が存在するゲーム、要は読者参加型のエロゲーだった。

各校にいるヒロインたちを巡って争つ。読者は自校のヒロインを守ったり、他校のヒロインを襲撃することを選択する。結果、ヒロインたちは読者と結ばれたり、あるいは陵辱されたりする。

このような内容なので必然、惨劇は相次いだ。ヒロインはかなりの高確率で犯されたり、肉便器なされたり、リョナされたり、最悪殺された。ウエルカム・トゥー・ディスプレイ・タイム。このイカレた時代によつてこそ。

学園トライアングルは暴走する読者を制御できなかった企画だったのか？ そう問われれば、多分違う。システムのにもストーリー的にも学園トライアングルは惨劇を容認する作りになっていたからだ。

時代はエロゲーの黎明期。エロという題材で、ゲーム性やストーリー性を追い求めるゲームが生まれ始めた。エロゲーで感動させようという動きがあらわれた頃だ（この流れはやがてLeafのビジュアルノベル三部作を通してKeyへ、さらに時代を進めてタイプムーンへと繋がっていく）。感動とは多かれ少なかれ、痛みを与えることだ。心臓に傷を刻むことだ。学園トライアングルは、実にストリートに傷を刻みに来た。そういうゲームだったと思う。

あの世界の惨劇はただの露悪趣味ではない。あの世界で学生だった僕たちは、あの世界の狂気を、傷の痛みとして共有していた。その傷が物語を動かす原動力となった。

おそらくその傾向が決定的になったのは、三国高校のトップである前崎生徒会長の毒殺だ。最重要キャラの一角であり、最強キャラだった前崎会長（必殺技である頂心肘の威力が核兵器に匹敵する）は、実にあっさりと裏切りによって謀殺された。その衝撃が、僕らの心臓に深く深く刻み込まれた（余談ながら、たぶん当初は乱世の梟雄としてデザインされたであろう前崎会長があの毒殺以降、英雄視され神格化していき、小説版に至っては序盤の描写が変更されたりする流れ、わりと本当に神話っぽい）。

そつやって、誰がどのような運命をたどるかもわからない、先の読めないあの世界で繰り広げる僕たちの戦争は、強固なドラマとして結実したのだ。

三つの学園があつて、戦争があつた。

この世界は無慈悲で、狂気に満ち、暴力が吹き荒れていたが、おそらくきつと愛があつた。

戦場に最後まで立っていたあの少女が、赤ん坊を抱きしめ、一緒に大声をあげて泣いている。

僕たちは確かに、あの時代の、あの世界の、心臓の傷を抱えて生きた、学生だった。

時に、199X年。
世紀末のある日。

私とその存在を耳にしたのはまったくの偶然でした。確か、部活の先輩から聞かされたのだったと思います。TRPG（テーブルトーク・ロールプレイングゲーム）や読者参加ゲームといった、1995年コミケ分類で言うところの「ゲーム（非電源）」の話題で盛り上がっている最中に、何気なく、さらりと衝撃の一言がもたらされたのでした。

「生徒会長の肘打ちは核爆発級の威力で」

衝撃。まさに衝撃！

生徒会長というからには高校生か中学生か。肘打ち。ああ、最近人気だというゲームセンターの格闘ゲームにおける八極拳を修めたプレイヤー・キャラクターのように、裡門頂肘を使うのだろうか。裡門頂肘を放つ生徒会長。なるほど。うん。でも待って、ちょっと待って——

核爆発級の威力って何！？

それが、私にとって初めての『学園トライアングル』との出会いでした。

作品をご存知の方には言うまでもなく、件の生徒会長の名は前崎俊次。ニホン国・三国高校の生徒会長にして、必殺技である超音速の肘打ち（頂心肘）の威力は文字通りに核爆発に匹敵する

（この攻撃を受けた相手は跡形もなく消滅します）最強の高校生。パソコンゲーム雑誌『パソコンパラダイス』掲載の読者参加ゲーム『学園トライアングル』を象徴する重要なNPC（ノン・プレイヤー・キャラクター）です。

読者参加ゲームのみならず、机上で遊ぶTRPGや郵便を用いて遊ぶPBM（プレイ・バイ・メール）をはじめ、オフィシャル側から提示される世界観にアクセスして遊ぶゲーム

——現在でいうところのMMOもしくはMOゲームのある意味では——先祖さまにあたるでしょうか——は90年代当時にも数あれど、またそついった世界観に登場するNPCが強力な人物であることも

数あれど、よもや、個人でありながら核爆発級の力を有する上に高校の生徒会長である等と！しかもこの前田俊二、長身・美形・眼鏡・黒髪・学生服、という完璧な外観。一瞬で私は心を奪われてしまいました。私ひとりだけではありません、多くの人々が彼に心奪われていた筈です。私の周囲でも男女問わず彼の人気は非常に高く、「あの生徒会長」「あの男」と畏敬を以て呼ばれていたものです。

ああ、奇しくも『学園トライアングルの』世界に生きる多くの人々と同じようにして――

ここからはネタバレになります。

個人として有り得ざる、フィクシヨンのキャラクターといえども破格にして最強の生徒会長である前田俊次は、然る後に《伝説》となります。学トラ世界に於いては十二分に伝説級の存在でしたが、現実に生きる私たちの心に『学園トライアングルの』作品そのものと共に深く刻みつけられることになる、その理由は……

暗殺。

最強であるはずの、魔族さえもが唯一恐れる人類最強の男は、読者参加ゲームの進行に伴って――暗殺、謀殺されてしまったのでした。ああ、それを知った時の私たちのショックと言ったら！

その強さと高いカリスマ性によって（男性向けの美少女ゲーム雑誌に掲載されているゲーム作品であるにも関わらず！）異例の人気を誇っていた最強の男が、生徒会長が、美形眼鏡が、戦いではなく謀殺によって命を落としたこと……そして、そこまでの人物さえも物語の引力ではなく読者参加ゲームのダイナミズムによって脱落したという事実は、初登場時の衝撃を更に上回る衝撃を以て私たちの胸を揺さぶったのでした。間違いなく、あの時、ひとつの歴史が動くのを私たちは感じていました。

そう、歴史の終わりではありません。むしろそこから更に『学園トライアングルの』世界は激動し、続編作品『学園ジエネシス』へと続く道が拓いていったとも言えるでしょう。（そしてやがてこの

御本へと繋がる訳です！

◆
続編としての読者参加ゲーム『学園ジエネシス』で活躍することになるさまざまな人々も、直接、もしくは間接的に彼の影響を受けています。かつての聖女候補であり、後に『勇気の聖女』として戦った少女パルック（パルックちゃんかわいいほんとかわいい）や、前崎俊次の異母妹であり『三代目勇者』となった前崎光一などはまさに代表格ですが、人類の敵対者である当時の魔族の側も妖火さんは無論のこと大教皇さま（今回の高津先生の漫画にも登場してますよね！あの子です！あの御方は魔族の超偉いひとなんです）さえも相当に前崎俊次を警戒していたフシがあります。むべなるかな。大教皇の目的、そして人類最強の男が残した『謎』とは……ああ、思い出しているうちに盛り上がってきてしまいました。コホン。

以上、とりとめもない話でお目汚しいました。

ああ、私も設定資料集欲しいです……いづれ、いづれ手に入れた暁には、SSのひとつも……。

「クワ×聖種格闘技戦に...」
 「ガームアツバにモト真...」
 「ハ極拳 vs フロムス...」
 「アストバトルに...」
 「ハ極拳...!!」
 「バレルズメイルに...」
 「反女」て妹火の
 外見にがにをな
 しかし...
 運命を感じてたお。
 「フリスクのラストには
 転うとしてたさ一番好き。
 妹火の...」

「ハ極拳の取組を反族...」
 「そのお返しに...」
 「お返しに...」

「お返しに...」
 「お返しに...」
 「お返しに...」
 「お返しに...」

「お返しに...」



「ハ極拳」の「反女」

「お返しに...」
 「お返しに...」
 「お返しに...」

「お返しに...」

「お返しに...」
 「お返しに...」
 「お返しに...」
 「お返しに...」
 「お返しに...」

「お返しに...」
 「お返しに...」
 「お返しに...」
 「お返しに...」

ずっと出したかったこの
学ジエネ本、
具体的な構想や計画ができたのは
一年も前の事でした。
需要どころか知名度も無い
不安を抱えながらの
作業でしたが
形に纏まってしまえばもう
良い思い出です。

描きたいモノを描き
言いたい事を言い
それでも足りない分は
ゲストのお二方が
全部満たしてくれました。
鋼屋ジンさん
桜井光さん
本当にありがとう
ございました。

とかいって二冊目作ったりしたら
よろしくね。

奥付

発行責任：高津ケイタ

サイトアドレス：<http://www9.plala.or.jp/jmbox/>

メールアドレス：keita1@sea.plala.or.jp

Special Price
500 YEN